

沖縄島名護市屋部川周辺の鳥類調査Ⅱ ～羽地大川・喜如嘉水田との比較～

北村育海

名護市立屋部中学校 2 年

1. はじめに

沖縄本島には、多くの渡り鳥が渡りの中継地点として訪れている。僕が住んでいる家の近くには、屋部川があり、河川周辺には色々な鳥類を見かける。沖縄には多くの探鳥地があるが、屋部川はそれに含まれていない。(沖縄県立博物館 .1999. 沖縄県の探鳥ガイド)。そこで、昨年度に、屋部川周辺に訪れる鳥類相を明らかにした。その結果、探鳥地として利用可能であることが分かった。

今回の研究では、屋部川とは異なる環境の羽地内海に注ぐ羽地大川と淡水域の喜如嘉水田との比較を試みたい。その結果から、屋部川が羽地大川や喜如嘉水田に劣らない探鳥地となることができるかどうかを検証する。

2. 調査場所

(1) 屋部川周辺 (屋部川周辺とアパート周辺)、(2) 羽地大川 (河口～羽地ダムの下流の川上橋)、(3) 喜如嘉水田

3. 調査方法

(1) 調査期間

屋部川においては、昨年度の調査 (2011 年 3 月～8 月) に引き続き、2011 年 9 月～2012 年 8 月まで調査を実施した。今年度は屋部川を沖縄本島の他の探鳥地と比較するために、羽地大川と喜如嘉水田を 2011 年 10 月～2012 年 8 月まで調査した。

(2) 鳥類調査

昨年度の調査と同じでどの地点もルートセンサス法により鳥類調査を実施した。すなわち、ルートを歩きながら、目視 (肉眼または双眼鏡) や鳴き声で確認できた鳥類を図鑑で調べて記録用紙に記録する。記録内容は、確認時刻、種名、個体数、行動とする。調査は、毎月、屋部川周辺 10 回、羽地大川と喜如嘉水田は 2 回程度、なるべく早朝に実施した。

調査票に記録した内容をパソコンに入力、保存し、集計・解析を行う。今回は、鳥類検索シートも作成し、広く一般の方々にも利用できる資料を作成した。

4. 調査結果

(1) 鳥類の出現種数

屋部川のルート 1 では、16 科 24 種の鳥類が確認できた。確認できた種のうち、留鳥が 13 種であり、渡り鳥は 11 種であった。

表1 各調査場所における鳥類の確認種リスト

	科名	種名	生息区分	生活形	アパート周辺	屋部川	羽地大川	喜如嘉水田
1	サギ	リュウキュウコノイ	留鳥	渉禽				○
2		トイサギ	冬鳥または留鳥	渉禽		○	○	
3		サコノイ	冬鳥	渉禽		○	○	
4		ダイサギ	冬鳥	渉禽	○	○	○	○
5		チウサギ	冬鳥	渉禽		○	○	○
6		アマサギ	冬鳥または旅鳥	渉禽				○
7		コサギ	冬鳥、一部留鳥	渉禽	○	○	○	○
8		カサギ	留鳥	渉禽		○	○	
9		アサギ	冬鳥	渉禽		○	○	○
10	カモ	マガモ	稀な冬鳥または迷鳥	水禽				○
11		ヒシカイ	旅鳥	水禽		○		
12		カカモ	留鳥および一部冬鳥	水禽			○	○
13		オカカモ	冬鳥	水禽		○		
14		ハシカモ	冬鳥	水禽				○
15		ハシカモ	留鳥 (外来種)	水禽		○		
16	カ	ミサコ	冬鳥	陸禽	○	○	○	○
17		ハシカ	冬鳥	陸禽	○	○	○	○
18		サバ	旅鳥および冬鳥	陸禽	○	○	○	○
19	ク	シロハラク	留鳥	渉禽				○
20		バン	留鳥	水禽		○	○	○
21	トドリ	コトドリ	冬鳥	渉禽		○	○	
22		ムクロ	旅鳥または冬鳥	渉禽	○	○		
23	サギ	キョウヨウサギ	旅鳥または冬鳥	渉禽				
24		コサギ	旅鳥または冬鳥	渉禽		○		
25		ハマサギ	旅鳥または冬鳥	渉禽		○	○	○
26		アサギ	旅鳥または冬鳥	渉禽		○		○
27		アサギ	旅鳥または冬鳥	渉禽		○	○	○
28		クサギ	冬鳥	渉禽		○	○	○
29		カサギ	冬鳥	渉禽		○		
30		キツサギ	旅鳥、一部越冬	渉禽		○	○	
31		イツサギ	冬鳥	渉禽		○	○	○
32		ツバサギ	旅鳥	渉禽		○		
33		タサギ	冬鳥	渉禽				○
34	カモ	エサカモ	夏鳥	水禽			○	○
35	セウカモ	セウカモ	冬鳥	渉禽				○
36	ハト	ギンハト	留鳥	陸禽	○	○	○	○
37		カコウ	旅鳥	陸禽		○		
38		スアガハト	留鳥	陸禽				○
39		トハト	留鳥 (外来種)	陸禽			○	
40	カモ	アカショウベン	夏鳥	水禽	○	○	○	○
41		カモ	留鳥	水禽		○	○	
42	キツサギ	コケラ	留鳥	陸禽	○	○		
43	ツバメ	ツバメ	旅鳥、一部越冬	陸禽	○	○		
44		リュウキュウツバメ	留鳥	陸禽	○	○	○	○
45	セキレイ	マジノセキレイ	旅鳥または冬鳥	陸禽	○			
46		セキレイ	冬鳥	陸禽	○	○	○	○
47		ハシセキレイ	冬鳥	陸禽	○	○	○	○
48		死バトリ	冬鳥	陸禽			○	
49	ヒトドリ	シロガシラ	留鳥	陸禽	○	○	○	○
50		ヒトドリ	留鳥および冬鳥	陸禽	○	○	○	○
51	モズ	モズ	留鳥	陸禽		○		
52	レンジヤク	レンジヤク	旅鳥	陸禽		○		
53	ツグミ	アヒゲ	留鳥	陸禽				○
54		イヒトドリ	留鳥	陸禽	○	○	○	
55		シロハラ	冬鳥	陸禽		○	○	
56		ツグミ	冬鳥	陸禽		○		
57	ウグイス	ウグイス	留鳥	陸禽	○	○		○
58		キマムシカイ	冬鳥	陸禽		○		○
59		セッカ	留鳥	陸禽	○	○	○	
60	カサギヒタ	サコノイ	夏鳥	陸禽			○	
61	シジユウカ	シジユウカ	留鳥	陸禽	○	○	○	○
62	メジロ	メジロ	留鳥	陸禽	○	○	○	○
63	ハチドリ	スズメ	冬鳥	陸禽	○	○	○	○
64	アトリ	アトリ	留鳥	陸禽				○
65		マヒ	冬鳥	陸禽		○		
66	カゲロウ	コシロカゲロウ	留鳥	陸禽		○		
67		シマキバ	留鳥 (外来種)	陸禽	○			○
68	ムクドリ	ムクドリ	冬鳥、一部留鳥	陸禽		○		
69	カス	ハシラカス	留鳥	陸禽				○
70		ハシラカス	留鳥	陸禽	○	○	○	○
				合計	16科	24科	19科	20科
					24種	54種	37種	40種

屋部川のルート2では、24科54種の鳥類が確認できた。確認できた種のうち、留鳥が20種であり、渡り鳥は34種であった。

羽地大川では、19科37種の鳥類が確認できた。確認できた種のうち、留鳥が15種であり、渡り鳥は22種であった。

喜如嘉水田では、20科40種の鳥類が確認できた。確認できた種のうち、留鳥が18種であり、渡り鳥は21種であった。

(2) 屋部川で確認された代表的出現種の個体数変動

屋部川で確認された代表的出現種の個体数変動を図1に示した。昨年度の調査結果(2011年3月～8月)も合わせて、2011年3月～2012年8月までの個体数の変動を集計した。

(3) 屋部川の鳥類検索シートおよび屋部川の鳥類観察マップの作成

巻末に屋部川の鳥類検索シートおよび屋部川の鳥類観察マップを示した。これらを利用することにより、初心者の方々でも屋部川での鳥類観察がある程度できるようになると思う。

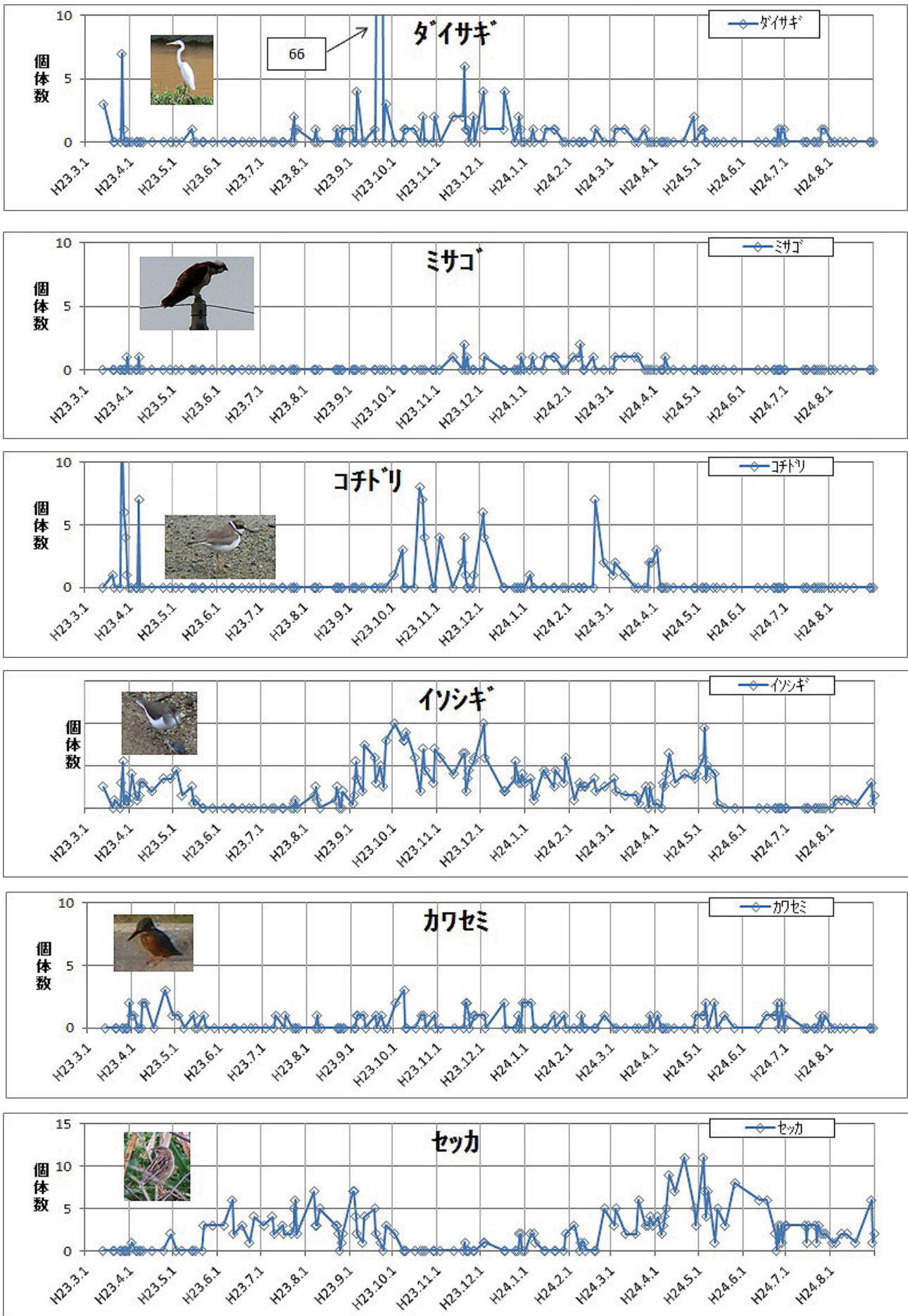


図1 屋部川における代表的出現種の個体数変動（2011年3月～2012年8月）

屋部川の鳥類観察マップ



5. 考察

(1) 鳥類の確認種: 確認種数では、屋部川が 54 種で、羽地大川と喜如嘉水田よりも多かった。一概に断定しにくいですが、屋部川は羽地大川と喜如嘉水田に劣らず鳥類が飛来する場所であると考えられる。屋部川の鳥類相の特徴は、羽地大川や喜如嘉水田と比べて旅鳥が多い（屋部川が 13 種に対し、羽地大川と喜如嘉水田が 3 種）。屋部川で確認できた代表的な旅鳥は、キアシシギ、アオアシシギ、サシバなどであるが、その他にも確認できた。多くの渡り鳥が訪れることができる環境であると考えられる。

(2) 屋部川における代表的出現種の推移: 屋部川では、9 月～4 月にかけて、猛禽類であるミサゴ、また、8 月～5 月にかけて、イソシギ、7 月～4 月にかけてコチドリが干潮時に確認できた。カワセミは調査期間中度々、1 回の調査で 2 個体まで確認できたため、つがいが生息していると考えられる。

(3) 屋部川の探鳥地としての可能性: 昨年度の調査結果から、屋部川は飛来する鳥類が多いため、探鳥地と成り得ると判断した。そして、今年度の調査結果から、屋部川は羽地大川や喜如嘉水田に劣らない探鳥地となり得ると考えられる。

6. 今後の課題

干潮時や満潮時での鳥の種数や行動の違い、あるいは 1 日（朝・昼・夜）の時間帯での変化を調べたい。屋部川に関しては、前年度からの継続研究でしたが、今年は、調査地点を 2 地点増やし、大変だった。鳥も名前や鳴き方、特徴など新たに覚えないといけなかったが、新たな鳥も見ることができ、うれしかった。

7. 研究成果の発表の記録

筑波大学主催 第 7 回「科学の芽」 努力賞

沖縄県理科教育協会主催 沖縄県児童生徒科学作品展 優良賞

